教育委員会だより「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和４年６月 24 日号　多治見市教育委員会　教育総務課

わたしの主張2022多治見市大会

『とうしん学びの丘エール』を会場にして、６月１８日に市大会を実施することができました。実に３年ぶりの開催でした。小学校区ごとに大会を開催し、市大会につなげていくという取組は、多治見市独自のものです。各校区のまちづくり市民会議の皆さん、小・中学校の先生方には、代表者が自信をもって発表できるように支えていただきました。ありがとうございました。

各小学校及び中学校の代表である 26 名の子ども達は、自信をもって自分の主張を発表しました。主張のテーマは、コロナ禍で、改めて見つめ直した家族や友達のありがたさや、ウクライナ問題を基に平和や生命の大切さについての主張が多くありました。また、地球環境などの SDGｓ、動物愛護、障がいや多様性（LGBTQ）など、今日的な社会問題に対する主張も多くありました。表現力も豊かで大変素晴らしい発表でした。入賞者を下記の通りお伝えします。

＜小学校の部＞　おめでとうございます。

最優秀賞　滝呂小　前川陽茉里さん
『多治見をよりよい町に』
優秀賞　市之倉小　渡辺　汐音さん
『私の中のあたりまえ相手の中のあたりまえ』
優秀賞　　笠原小　釜倉　桃葉さん
『戦争は絶対にしたくない』

＜中学校の部＞おめでとうございます。県大会に向けて頑張ってください。

最優秀賞　小泉中　渡邉日向圭さん
『認める社会から受けとめる社会へ』
優秀賞　南ヶ丘中　坂井　充樹さん
『知ることから世界は変わる』
優秀賞　　陶都中　池俣　知佳さん
『ありがとう』

食育センター施設見学

市内小学校３年生の子ども達の、食育センターの施設見学が始まりました。写真は、６月９日に訪れた小泉小学校の施設見学の様子です。

子ども達は、まず、調理の様子を見学しました。大きな鍋で味噌汁を調理する調理員の姿を目にして驚いていました。自分たちが毎日食べている給食に多くの人達の「おいしく食べてもらいたい」という願いが込められていることを学びました。その後、雪印メグミルクさんから「牛乳」について学び、なぜ、牛乳が毎日出るのかについて理解を深めることができました。そして、最後にセンターで給食を食べました。このように、楽しく学んでおいしくいただくという貴重な体験ができました。今後も、こうした食育を進めていきます。

土曜学習「美濃焼名人になろう2022」

６月 11 日には、今年度第２回目の土曜学習「美濃焼名人になろう 2022」を、３年ぶりに開催することができました。美濃焼ミュージアムと意匠研究所を会場にして、作陶体験や施設見学、抹茶体験を楽しみました。小学生 39 名、中学生ボランティア 12 名が参加しました。中学生ボランティアのリーダーシップを頼もしく思いました。施設見学では、陶器と磁器について積極的に質問する姿が見られました。また、抹茶体験では、教えてもらったお茶の作法を、実際にやってみて抹茶の豊かな味わいを楽しんでいました。多治見ならではの体験ができました。